

修了1年後 修学成果アンケート結果(追跡調査)

2期生 学習成果の自己評価アンケート調査(修了1年後)結果

回収期日 2020/3/31 14/15 回収率 93.3%

Q1 【学校教育に関する高度の学識及び実践力・応用力を身につける。】歴史的社会的な背景を踏まえて、教育の現状を多面的多角的に把握したうえで、将来に向けて現在必要とされる教育のあり方を考えることができている。

学習デザイン学卒・学習デザイン現職・マネジメント 合計

1. 十分に達成している			3	3
2. ある程度達成している	1	3	2	6
3. あまり達成していない	3	2		5
4. 全く達成していない				

評価理由

1 マネジメント

今後必要とされる力としては、課題を見つけ、課題解決のために自ら考えることのできる生徒を育てなければいけないと考えている。これらの能力の獲得には、従前の一斉授業や生徒に押し付ける教育ではなく、主体性を育てるスタイルに学校を変えなければならず、そのような方向に邁進している。

学校を俯瞰する立場にいるゆえに、教育を取り巻く社会的情報は現場にいる以上に情報をキャッチできている。

2 学習デザイン学卒

- ・「自分で考えて自分で決めて自分で行動する」力が大切だとして、そのために基礎的な知識を学ぶ必要があると考えているから

学習デザイン現職

- ・教育の現状を多面的多角的に把握し、ある程度考え授業実践及び総合的な探究の時間のカリキュラムを考えることができたため。
- ・新学習指導要領の趣旨を踏まえて学校研究を中心に取り組んでいるため

マネジメント

- ・常にこれからの社会で求められている力(=生徒につけたい力)を意識し、教育の現状を把握したうえで指導しようと心掛けている
- ・新学習指導要領の理解と実践を継続しているから。
- ・大学院で教育全体の動向やその課題について深く触れたことで、その課題を特別支援教育の立場に当てはめて考えられるようになった。その課題は多方面にわたっておりすべての確に理解できているとは言えないが、校務における役割の中でできることは何かを考えながら日々を過ごすことができたと思う。

3 学習デザイン学卒

- ・歴史的社会的な背景を踏まえて、教育の現状を多面的多角的に把握することが不十分である。

- ・1年目で、教育の在り方を考える余裕がなかった

学習デザイン現職

- ・直面している問題については、周囲と相談・協力しながら解決に向けて取り組んできた

が、歴史的社会的背景までは踏まえてない

Q2 【学校教育に関する高度の学識及び実践力・応用力を身につける。】教育改革の動向について多面的に理解し、実践上の課題について深く考えている

	学習デザイン学卒	学習デザイン現職	マネジメント	合計
1. 十分に達成している			2	2
2. ある程度達成している	1	4	3	8
3. あまり達成していない	3	1		4
4. 全く達成していない				

評価理由

1 マネジメント

- ・ GIGAスクール構想をはじめ、スキームの理解や具体的な予算申請等、常に実現に向けての課題を常に試行錯誤する立場にあるため。
- ・ 今後必要とされる力としては、課題を見つけ、課題解決のために自ら考えることのできる生徒を育てなければいけないと考えている。これらの能力の獲得には、従前の一斉授業や生徒に押し付ける教育ではなく、主体性を育てるスタイルに学校を変えなければならず、そのような方向に邁進している。

2 学習デザイン現職

- ・ 最新の教育事情について情報を得ることができているため
- ・ 総合的な探究の時間を運営する際に実践上の課題について考えることができたため
- ・ 目の前にいる子ども達の実態に合わせた学級経営を行っているため
- ・ 教務課に所属していたので、新学習指導要領を踏まえた教育課程や特別活動、総合的な学習の時間、道徳教育等の全体計画を編成した

マネジメント

- ・ 進路指導課において、絶えず大学入試改革や高大接続の話題には敏感に反応し、準備をしていた
- ・ 文科省資料を継続的に拝読して教育の現状や動向に注視しているから
- ・ 現在特別支援学校では「教科の捉え直し」が課題として取り上げられている。大学院での学びを通して特支の立場以外に小中高の立場から課題を捉える視点を得られたことは大きな成果である。児童生徒一人一人の実態と通常校での教科学習で目指す姿とをどのように結び付けていくか、イメージすることはできるようになってきている。

3 学習デザイン学卒

- ・ 新学習指導要領については理解しているが、大学入試や英語に関する改革についての理解は報道の範囲内で、十分でないと感じるため。
- ・ 教育改革の動向について多面的に十分に理解しているとは言えないが、実践する上で教育の課題についてある程度、考えているから。

Q3 【学校教育に関する高度の学識及び実践力・応用力を身につける。】教育内容とその教育方法に関する高度な専門的知見を有し、グローバルな視野をもちつつ、地域や家庭と緊密な連携を取ることができている。

学習デザイン学卒・学習デザイン現職・マネジメント 合計

1. 十分に達成している			1	1
2. ある程度達成している	1	3	2	6
3. あまり達成していない	3	2	2	7
4. 全く達成していない				

評価理由

1 マネジメント

- ・ SDGsファシリテーター有資格者としては、思った以上に身動きが取れず、協働的な体制を築く手前で足踏みしている状態である。
- ・ 生徒だけでなく、保護者にも内容が伝わるようPTAの集会の際には、分かりやすく話している。

2 学習デザイン学卒

- ・ 担任をしていたときは、家庭との連絡を密に行うことを心がけていた。

学習デザイン現職

- ・ 必要に応じて家庭との連携や関係機関との連携を図っているため

マネジメント

- ・ 金沢大学、石川県立大学、慶応大学、金沢市など多くの方たちと連携し取り組むことができたため
- ・ 総合的な探究（学習）の時間で探究型学習を推進する中で、地域と関わり、互いに連携する機会を設定した。グローバルな視野をもつよう心掛けた
- ・ 地域人材を有効活用しながら単元計画を実施することを意識している

3 学習デザイン学卒

- ・ 教育内容と教育方法の研究を継続し授業実践を行ったが地域や家庭との連携は不十分である。
- ・ 教育内容とその教育方法に関する高度な専門的知見を有していない。グローバルな視野を持ち、世界のことに目をむけさせるように努めている。地域や家庭と緊密な連携をとれているとは言えないから。

学習デザイン現職

- ・ 校務分掌や学級担任の担当上、地域や家庭と連携する機会はあまりなかった

マネジメント

- ・ 副担任という立場から担任に対し、子どもの成長をより促すための家庭との連携に関して話し合うことはよくあった。ただ、生徒指導主事という立場からは所属が中学部であったこともあり、「グローバルな視野」を結び付けにくく、十分な実践はできなかったと捉えている。

Q4 【学校教育に関する高度の学識及び実践力・応用力を身につける。】学校の役割についてグローバルな視野から把握し、課題解決にあたっては地域や家庭と深く協働している。

学習デザイン学卒・学習デザイン現職・マネジメント 合計

1. 十分に達成している			1	1
2. ある程度達成している	1	3	4	8
3. あまり達成していない	3	1		4

評価理由

1 マネジメント

- ・ 生徒だけでなく、保護者にも内容が伝わるようPTAの集会の際には、分かりやすく話している。

2 学習デザイン学卒

- ・ 家庭連絡を密に行っていた。地域との連携はまだ不十分だと考える。

・ 学習デザイン現職

- ・ 金沢大学、石川県立大学、慶応大学、金沢市など多くの方たちと連携し取り組むことができたため
- ・ 子どもの課題を子どもの保護者の協力を得て解決に当たっているため。

マネジメント

グローバルな視点は薄いですが、コミュニティスクールの基礎を築くための仕掛けは主体的に進行できている。

- ・ 教育活動をHPや便りなどで、学校の役割と家庭の役割等を周知するよう努めている。

3 学習デザイン学卒

- ・ 地域や家庭との連携が薄いと感ずるため。
- ・ 学校の役割についてグローバルな視野を持っていない。課題解決にあたっては家庭と協力するように努めているから。
- ・ 学校の役割についてグローバルな視点から把握できなかった

マネジメント

- ・ 本校の総合的な探究（学習）の時間は地域課題解決型でありローバル課題の解決・提案（SDGs）型ではないので、グローバルな視野は意識しているが、把握は不十分。
- ・ 様々な校種がある中での特別支援学校の役割という見方で、教科の捉え方や生徒指導上の関わり方など日常の指導等を考えている。生徒指導主事としては、問題が起こった場合に様々な外部機関とのつながりが必要となるが、現状はまだ十分に実践できていない。

4 学習デザイン現職

- ・ グローバルな視野で学校の役割について把握していない。

Q5 【学習者の主体的・能動的な学習をデザイン・支援できる能力を身につける。】子どもたちの個性に応じた学習支援に配慮しながら、子どもたちが主体的・協働的・創造的に学ぶ授業をデザインし、実践することができている。

